

# 町政執行方針

平成21年第1回町議会定例会の3月5日、伊藤町長が町政執行方針、田代教育長が教育執行方針をそれぞれ表明し、議会や町民に理解と協力を求めました。  
以下執行方針及び主要施策の内容をお知らせします。



町長 伊藤 昭宣

平成21年第1回町議会定例会の開会にあたり、町政執行への私の所信を申し上げ、議員の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。  
米国のサブプライムローンに端を発した金融危機は、世界的な経済等の減速を招き、原油や原材料価格の高騰による企業収益や個人消費に甚大な影響を与えており、世界が同時不況に陥るといふ未曾有の状況は、景気や雇用情勢を

急激に悪化させるなど、生活の不安が日々深刻化を増す厳しい状況となっております。このような中、政府は20年度予算において「安心実現のための緊急総合対策」及び「生活防衛のための緊急対策」と、2次にわたる大型補正を講じるとともに、21年度においては、切れ目なく断続的に景気対策を実行するなどとして、一般会計予算の総額は過去最大の88兆5千億円となり、これまでの財政再建路線から景気重視の姿勢を鮮明にしております。一方、北海道においても厳しい財政状況が続くものの、不況の深刻化に対応し、景気・雇用対策や医療分野に重点配分するとして、公共事業費が10年ぶりに増額するなど、道内経済に配慮した予算になる見込みであります。

これまで和寒町は、第4次総合計画と第3次行政改革大綱に基づく計画的で効果的・効率的な行政運営を進めて参りました結果、財政健全化法により公表が義務付けられた19年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率は、本町の健全財政を証明する結果となり安堵したところであり

保に徹底を期して参ります。一方、歳出面では、経常的経費の一層の効率化を図り、経費の縮減に努めながら元氣ある和寒町を創るための事務事業を積み上げたところであり、行政サービスの維持を図るとともに、最大の効果が得られるよう町政の執行にあたる所存であります。

## 重点方針

私は予算編成にあたり重点方針として

- 一、特性ある地域産業の振興
- 一、安全・安心な社会福祉の実現

- 一、元氣なまちを支える担い手の育成
- 一、教育環境の充実と文化・スポーツの振興

の4項目を位置付けいたしました。

## 予算規模

予算の規模は、一般会計35億4千800万円（対前年比4.51%増）となりましたが、国の各補正措置により21年度に繰り越される事業を加味した実質的な一般会計予算は、40億2千209万円と前年度対比18.5%の増となりました。

特別会計は、国民健康保険特別会計6億9千850万円（対前年比19.75%増）、簡易水道事業特別会計6千324万8千円（対前年比6.23%減）、公共下水道事業特別会計1億3千397万4千円（対前年比3.01%減）、後期高齢者医療特別会計5千170万円（対前年比3%減）、老人保健特別会計731万円（対前年比90.57%減）、介護保険特別会計7億277万3千円（対前年比7.13%減）、町立病院事業会計5億166万9千円（対前年比2.78%増）、全会計の合計は、57億717万4千円となり、対前年比2.66%、金額にして1億4千764万8千円の増額予算になったところであります。

これら予算に計上いたしました主要施策について順次申し上げます。



# 農業関係

はじめに農業関係について申し上げます。

昨年は原油高騰による燃料や肥料をはじめ、生産資材や配合飼料の高騰、さらには生活用品の値上げなど、農業だけでなく商工業経営や日常生活にも大きな打撃を受けた1年でありました。

農作物の価格は低迷を続け、経営環境も依然厳しい中、特に乳価につきましては昨年4月に引き上げられたものの、経営を安定させるには至らず、今年3月から再び飲用向けが1kg当たり10円、平均で5.3円引き上げられることになったところでありませんが、飼料価格は高止まりの傾向にあり、経営改善にはなお厳しい状況が続くと思われるところであります。

経済状況の悪化が長期化の様相を示す中、国では2次にわたる補正措置を行い、水田最大活用推進緊急対策として「肥料・燃油高騰対応緊急対策事業」が創設され、本町におきまして1月19日から23日まで受付を行い、該当者219名、1億880万4千4

80円の申請を終えたところであり、21年度は8地区で、カボチャ・大豆・そばの取り組みを予定しており、町としても地域農業の振興に資することから、事業を推進していきたいと考えておりますので、ご理解をお願い申し上げます。

## 水稲関係

毎年のように国の農業政策は変化しておりますが16年度から実施されていきます「産地づくり交付金」は、食料自給力・自給率向上の効果を高めるように見直された結果、「産地確立交付金」に名称が変更され、今後、調整水田等の不作地は助成の対象から除外されることから、水稲作付け面積の調整に苦慮するものと懸念をしております。

## 農地・水・環境保全向上対策

「農地・水・環境保全向上対策」は、20年度より10地区が共同活動支援の取り組みを行なっておりますが、本対策、2階部分としての営農活動支援の取り組みについて、各地区より多くの要望が

あり、21年度は8地区で、カボチャ・大豆・そばの取り組みを予定しており、町としても地域農業の振興に資することから、事業を推進していきたいと考えておりますので、ご理解をお願い申し上げます。

## 町独自の緊急対策

このように国の施策が講じられる中、町といたしましては農業経営安定対策における町独自の緊急対策として、新たに純畑を対象にその面積に応じた再生産費の一部を助成する「緊急農業支援対策事業」を創設するとともに、20年度で終了することとしておりました「農業高度活性化事業」につきましても、緊急支援対策として1年間に限り延長し、農家経営の安定に資するよう努めて参ります。

さらに、JA北ひびきにおいてもコスト削減のため機械銀行で共同作業に努めているところであり、大型コンバインの老朽化に伴い更新する計画がありますので、町といたしましても農家負担の軽減を図るべく購入費の一部を補助するとともに、現在の食味分析機は導入後13年を経過し修理部品の調達が困難となっており、分析機に

ついては同様に補助を予定しているところであり、町としても、経営安定対策などを施策の柱として、農業委員会や各関係機関、農業者のご意見を尊重しながら、本町農業の安定的・持続的な発展を期すべく努力して参ります。

## 農業活性化センター

農業活性化センター農想塾につきましては、試験展示圃での品種比較試験をはじめ、農業情報の提供や土壌・食味分析、後継者育成など本町農業の振興に大きな役割を果たしているところであり、適正な施肥設計を基に良質で安全な農産物の生産とコストの低減が求められておりますこと



から、土壌診断の促進を図りながら、消費者ニーズに応える農産物の試験研究を引き続き実施して参ります。また、活性化センターの外壁などの補修と、農産加工センターにつきましても、施設の老朽化が進んでおりますことから、計画的に機械設備の更新を図るべく、21年度につきましてはリースポイラー3基の交換を予定しているところであります。

## 農村生活体験事業

今年で20年目を迎えます「都市女性農村生活体験事業」は、20年度も3名の女性が入町され、実習に精力的に取り組まれ、大変喜ばれたところであります。これまでに体験事業で訪れた実習生で12名の方が本町の後継者と結ばれており、現在も2名の方が本町に定住されるなど、一定の事業効果を上げておりますが、近年男性の応募もあることから、21年度からは担い手対策の一つの方策として、男性の受入も考慮し事業名を「農村生活体験事業」と改め実施することとし、受入農家や関係機関と連携をより一層深め、充実した事業として継続して参ります。

土地改良事業

次に土地改良事業関係であります。農業経営の安定と生産性の向上を図る上で欠くことの出来ない事業でありますので、21年度においても新たに「西和地区ため池等整備事業」を加えた5地区で暗渠・客土、水路整備等、総額6億5千430万円の事業費で道営事業が実施されることになり、農家負担軽減対策としてのパワーアップ事業を実施して参ります。

畜産関係

畜産関係では、厳しい経営状況が続く中で、配合飼料の給餌から牧草の割合を増やすことはコスト削減にもなり草地改良は欠かすことができないことから、21年度も草地改良事業15ヘクタールを計画しており、また、牛の改良増殖を行うため、受精卵移植事業も継続して参ります。

林業関係

林業関係につきましては、朝日30林班、三笠26林班においてカラマツ9ヘクタールを造林することとし、20年度までに分収造林として完了しました2348林班も含め下刈・除間伐作業などを今後も継続して参ります。



有害鳥獣による農作物被害

が増大する中、被害防止対策として実施してきました「有害鳥獣捕獲奨励補助」につきましては、昨年3名の方が新たに狩猟免許を取得し活動されており、効果が期待されますことから21年度も継続して実施して参ります。また、アライグマによる農作物への被害も想定されることから、「有害鳥獣対策連絡協議会」を設置して被害防止の取組を本格化して参りたいと考えております。

新エネルギービジョン

昨今、地球環境にやさしい「バイオマスエネルギー」が注目されている中、本町におきましては森林資源をはじめ

## 農林業関係の主な事業

**農業振興費 167,226千円**

- ★後継者育成振興奨励事業（担い手育成モデル事業、認定農業者農地利用集積支援事業、新規就農対策事業補助、担い手研修等報償）
- 農業高度活性化緊急支援事業【新規】**  
（施設整備及び機械導入補助）
- ★稲作振興補助（稲作振興協議会補助）
- ★畑作振興対策事業（蔬菜組合連合会補助、野菜価格安定事業補助）
- ★農業経営安定対策（各種農業制度関連資金利子補給補助、平成16年度台風被害支援利子補給）
- 大型コンバイン購入事業補助【新規】**  
（農協の機械支援事業に助成）
- 緊急農業支援対策補助【新規】**  
（畑の再生産費の助成）
- ★中山間地域等直接支払事業  
（中山間地域等直接支払交付金）

**経営構造対策費 42,946千円**

- ★農業活性化センター運営対策（活性化センター運営費、食味分析器更新【新規】、活性化センター外部改修【新規】）
- ★特産物振興対策（加工センターライスボイラー交換【新規】、加工センター運営経費）
- ★土づくり対策  
（パーク供給センター運営経費）

**林業振興費 4,710千円**

- ★林業振興事業  
（北の森づくり推進事業補助、除間伐事業補助）

- ★有害鳥獣捕獲推進事業（有害鳥獣捕獲奨励補助）
- 特定外来生物防除事業【新規】**  
（アライグマ対策費）

**畜産業費 7,264千円**

- ★畜産振興対策（酪農ヘルパー事業、草地改良事業補助、受精卵移植事業補助）
- ★農家経営安定対策（畜産特別資金利子補給補助）
- ★公共育成牧場  
（三和牧場運営管理費、国有林借上料）

**土地改良費 158,310千円**

- ★道営事業（和寒中央地区地域水田農業支援緊急整備事業、和寒北地区経営体育成基盤整備事業、第1幹線地区新農業水利システム保全整備事業、菊野西地区畑地帯総合整備事業、西和地区ため池等整備事業【新規】）
- 農地・水・環境向上対策事業  
（共同活動支援、営農活動支援【新規】）
- ★国営造成施設管理体制整備促進事業

**町有林管理費 15,661千円**

- ★町民植樹祭
- ★町有林整備事業（人工造林、間伐、下刈り）

**農業委員会費 4,533千円**

- ★担い手推進事業（農村生活体験事業補助）
- ★農地流動化活動事業  
（農用地利用改善組合活動補助）

## 商工観光関係

### 商工関係

とした木質バイオマスの有効活用について調査・研究を進めて参りましたが、21年度は本町のエネルギー資源となりうる可能性があるもの全てを調査し、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の事業により「和寒町新エネルギービジョン」を策定し、化石燃料に替わる新エネルギー導入の可能性や地材地消による、地球環境に配慮した対策を構築し、豊かな自然環境を将来の世代に引き継ぐための施策を講じて参りたいと考えております。

国は昨年10月から中小企業者の資金繰りを支援するいわゆる貸し渋り対策として「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」を設けて融資保証料の助成を行っているところですが、本町におきましては、これまで4件の申請があり認定手続きを済ませているところであり、この他、町独自の利子補給制度も継続して実施し、町内企業の経営安定に努めて参ります。また、最近公

表された消費動向によると、町内での購買は1割程度との調査結果が示され、購買力の流出対策が求められる中、魅力ある商店街づくりに向けた「空き店舗対策」は重要な課題となっており、創意工夫を工会と連携をし、創意工夫を図りながら、空き店舗の活用に向け検討して参ります。

### 雇用対策

派遣切りや雇用止めが問題視される中、雇用環境は依然厳しい状況下であり、新たに国の第2次補正で緊急雇用創出事業が創設されたことから、本町におきまして、21年度におきまして、これまでの「地域雇用対策事業」とは別枠として「緊急雇用創出事業」を創設し、雇用環境の改善を期すべく努めて参ります。

### 観光関係

観光面では、観光協会が中心となり、各種イベントを計画・開催して頂き、町外からの来客者数も増加してきておりますので、今後も連携しながら事業推進に努め、特に塩狩峠記念館は開館から10年が経過し、この間「塩狩峠記念館友の会」の方々にご協力を頂き、来館者に喜ばれる記念館づくりを進めて参りました。

が、近年は修学旅行の周遊コースにもなり、三浦綾子さんのファンをはじめ多くの方から、21年度に計画している開館10周年記念事業と抱き合わせながら塩狩峠記念館友の会とも連携を図り、親しまれる運営に努めて参ります。



## 商工観光関係の主な事業

商工業振興費 30,678千円

- ★商工会運営に対する補助
- ★商業振興協同組合補助
- ★商工業新規就業対策補助
- ★中小企業補償融資保証料及び利子補給補助
- ★商工業活性化融資利子補給補助
- ★中小企業経営安定化利子補給補助
- ★地場産業開発研究補助
- ★特別雇用対策補助
- 緊急雇用創出事業【新規】  
(町有林環境整備)

観光費 12,335千円

- ★全日本モトクロス選手権大会負担金
- ★各種モータースポーツ大会補助
- ★どんとこい！わっさむ夏まつり負担金
- ★観光協会補助（観光事業等補助、駅前案内図及び観光鳥瞰図更新【新規】）

公園費 36,599千円

- ★三笠山自然公園・東山スキー場指定管理
- ★南丘森林公園運営管理
- ★南丘森林公園整備  
(浄化槽空膜モジュール更新【新規】)

## 保健福祉関係

### 保健福祉関係

21年度における、現在までの出生数は29名で19年度末の13名と比較しますと大きく増加しておりますが、65歳以上の人口では、1月末現在で1千536名となっており、高齢者率が37.8%と、前年対比1.4%の伸びを示す結果となり、少子高齢化が進行する中、市民の皆さまが健康で安心した生活が日々送れるよう配慮しなければならぬと意を新たにしているところであります。

保健・医療・福祉・介護等を取りまく国や道の施策も、年々複雑さを増し、財政的にも大きな負担増となっている状況下にあります。重点政策の一つとして掲げております子育て支援につきましては、その核となります「(仮称)子育て支援センター」の事業内容や関連施設をどのような形で整備すべきか所管常任委員会にお諮りしながら、次世代を担う子どもたちの健全な成長を念頭に迅速に進めていく所存であり、福祉関連施設の一つであります「生

きがいセンター」を現在の「旧和寒老人憩いの家」に移設するための改修工事を行うべく、その事業費と支援センターに現在の「三笠児童館」を併設するための実施設計費を21年度予算に計上させて頂いたところであります。

### 児童福祉関係

次に保育所関係では、常設保育所73名、季節保育所21名の入所予定となっており、児童館事業とともに、子どもたちが健やかに遊び育ち、情操豊かな心を育む児童の育成に努めて参ります。なお、20年度における一時保育事業では、現在まで延べ26名の利用となっておりますことから、21年度においても保護者の方々が緊急を要する場合の子育て支援策として事業を継続して参ります。



## 保健福祉関係の主な事業

### 高齢者等福祉 222,577千円

- ★高齢者共同福祉住宅運営費
- ★道北バス利用者運賃助成
- ★高齢者事業団育成事業
- ★老人クラブ連合会補助事業
- ★寝たきり老人等介護手当
- ★認知症老人介護手当
- ★緊急通報装置設置
- ★在宅福祉事業委託
- ★ふれ愛住宅補助
- ★長寿祝金
- ★訪問看護サービス自己負担金軽減補助
- ★生きがいセンター移転改修【新規】
- ★介護保険特別会計繰出金
- ★後期高齢者医療広域連合市町村負担金
- ★後期高齢者医療特別会計繰出金
- ★高齢者健康審査業務委託

### 障がい福祉 93,337千円

- ★地域生活支援事業委託
- ★重度障がい者ハイヤー料金補助
- ★社会福祉施設等通園費補助
- ★身体障がい者補装具補助
- ★地域生活支援事業日常生活用具給付
- ★重度心身障がい者等医療費給付
- ★障がい者の明るいくらし促進事業
- ★障がい者自立支援給付費
- ★障がい者医療費給付
- ★障がい者自立支援医療費
- ★身障者用トイレ改修

### 児童福祉 99,909千円

- ★常設保育所運営
- ★季節保育所運営
- ★児童館運営
- ★児童手当
- ★医療給付費
- ★一時保育事業
- ★障がい者自立支援給付費
- ★心身障がい児こども通園施設運営負担
- 次世代育成支援後期行動計画【新規】
- 子育て支援対策事業【新規】

### その他の福祉 74,107千円

- ★福祉団体補助
- ★社会福祉協議会運営補助
- ★国民健康保険特別会計繰出金

### 保健の向上、維持増進 217,439千円

- ★母子保健事業
- ★歯科保健事業
- ★成人保健事業
- ★予防接種
- ★上川北部地域第2次救急医療事業
- ★ヘルシーライフ普及啓発
- ★組織育成
- ★保健福祉センター運営
- ★訪問看護事業
- ★町立病院事業会計繰出金

保健関係

保健関係では、健康で安心して生活が送れるよう、可能な限りの疾病予防に努め、早期発見時の治療につながるよう各種健診事業を推進して参ります。

なお、20年度より法的に実施が義務付けられました「特定健診・特定保健指導実施事業」の充実を図ることは勿論であります。21年度からは、特定健診や後期高齢者の健診・特定高齢者を把握するための生活機能評価などを集団健診に合わせ、旭川市医師会健康管理診療所に委託し、個別健診は町立和寒病院で実施するなど、その体制を再度、整えながら実施して参りますとともに、前年同様、町内数箇所で開催健診を実施し、受診して頂く町民の方々に對し、出来るだけご不便を掛けぬよう配慮して参りたいと思っておりますので、ご理解をお願い申し上げます。

なお、75歳以上の後期高齢者健診につきましては、国保事業同様に個人負担を無料とすることとしております。

住民関係

衛生関係

環境保全対策につきましましては、住み良い生活環境づくりと適正なごみ処理を目指して徹底したごみの分別とリサイクルで、ごみに対する経費を少しでも削減できるように町民皆さまのご協力とご理解を得ながら西和最終処分場の延命のために努力して参ります。

また、広域生ごみ処理施設につきましても1市2町で十分協議協力しながら、適正な維持管理に努めて参ります。



地球温暖化防止対策

地球温暖化防止対策につきましましては、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼす問題として、家庭、学校、職場、地域等の連携による取り組みの推進に努めつつ、各事業所にも温室効果ガス削減に向けた取り組みの実施協力について周知を図って参ります。

戸籍関係

戸籍業務の電算化につきましましては、戸籍情報を集約した一元管理が可能となることから戸籍事務の迅速化を図り、業務の効率化及び住民サービス向上のため、21年度内の開始に向け整備を進めて参ります。

住民関係の主な事業

- 環境衛生費 122,923千円
- ★保養センター管理運営
  - ★葬斎場・墓地管理運営
  - ★衛生害虫駆除補助
  - ★水質保全事業補助
  - ★簡易水道事業特別会計繰出金
  - ★公共下水道事業特別会計繰出金

清掃総務費 26,593千円

- ★公衆トイレ清掃管理
- ★リサイクルセンター管理運営及び資源ごみ収集業務委託
- ★し尿収集及び処理業務委託事業
- ★資源ごみ広域処理負担金

塵芥処理費 42,522千円

- ★一般廃棄物埋立処分場管理運営及びごみ収集業務委託
- ★広域生ごみ処理場管理運営

建設関係

土木関係

土木関係では、地方特定道路整備事業として、20年度から3か年で計画しました西町・若草南1丁目通りのバリアフリー化は西町側を終了しましたので、21年度においては若草側の一部と役場西側に位置します3条通りの路面整備を実施して参ります。

公営住宅関係

公営住宅につきましましては、17年度に着手しました「あかしや団地大規模改善事業」は最終年度を迎え、住宅2棟8戸の改善は、先の第1回町議会臨時会において補正予算を提案し早期着工するとともに、既存住宅3棟12戸を解体し、跡地を駐車場及び冬期間の堆雪スペースとしての造成整備を図って参ります。

旭川土木現業所所管事業

道道和寒幌加内線の三和工区につきましましては、20年度で事業完了となりましたが、未改修である西和5線までの約1.7キロメートルの拡幅工事は、22年度以降、三和工区と同じ車道幅員により進めたい意向のようでありまして、

道道和寒鷹栖線につきましては、未着手区間である17線から19線までの約1.2キロメートルの改良工事について、引き続き要望して参ります。

1級河川改修事業のうち剣淵町との境界になります字大成の6線川改修につきましては、5か年の国庫補助事業として採択され、21年度において大成「4号橋」の実施設計に着手されますことから、同橋を設置した当時は木橋であり、今回、コンクリート造とするため質的改良に当たり、設計業務に係る経費を河川管理者である北海道が2分の1、道路管理者の和寒町と剣淵町がそれぞれ4分の1の事業負担金を計上させていただきました。

剣淵川についてであります。21年度につきましては、計画断面を想定した調査設計及び用地補償を行い、22年度以降、暫定断面により改修工事を進めると伺っており、1日も早い工事着工が待たれるところであります。

## 建設関係の主な事業

道路維持費 138,198千円

- ★町道除排雪事業
- ★町道維持管理事業

住宅建設費 26,970千円

- ★公営住宅整備事業

河川総務費 4,268千円

- ★河川流域防災対策事業  
(樋門管理委託、洪水ハザードマップ作成業務委託【新規】)

### 総務関係

わっさむ110年記念事業  
関係

平成11年挙行されました「わっさむ100年」の慶賀は、今だ記憶に新しいところではありますが、迎えました本年は「わっさむ110年」の節目の年となりますことから、質素になりますもの、町民の皆さまとともに110年を祝い、本町の更なる継承発展を願う「110年記念事業」の執行経費を新年度予算に反映させて頂いたところであり、記念事業の一環として招聘をしておりますNHKの公開収録番組である「とことん!ふるさとステージ」が、本町を会場に実施されるとの朗報がございましたので、その対応に万全を期して参りますとともに、記念表彰等について適宜実施して参ります。

#### 行政改革関係

昨年4月にスタートいたしました新しい自治の仕組みであります「自治会」は、各自治会役員の皆さまはもとより、町民の皆さまのご理解・ご協力を賜り円滑な移行が図られたところでありますが、

21年度におきましても地域・住民が主体となった地域づくりが一層活発に推進されますよう「地域振興補助金」等、必要な自治会関連の予算を計上しているところであります。

行政におきましては不断の取り組みとして業務の合理化や事務の効率化を進めておりますが、職員の定数管理が進む中、能率的な組織体制を更に強化するため4月から一部スタッフ制の導入を実施することといたしましたので、その仕組みについて周知に努め、事務の効率化に徹底を期して参ります。

20年度から自治基本条例策定検討委員会を設置し策定作業を進めております「自治基本条例」は、10名の委員を中心に鋭意検討を進めて頂いているところであります。本年度につきましては、より多くの意見等を反映いたしたく「自治基本条例策定町民会議」を設置するところでありまして、基本条例はこれからのまちづくりを進める上で「町の憲法」となるものでありますから、議会ともご相談申し上げながらこの1年をかけて条例制定を目指して参りたいと考えているところで

あります。



#### 交通安全

交通安全の推進につきましては、北海道において4年連続して交通事故死全国ワーストワンを返上するという成果を上げたところであります。が、町内においては2件の死亡事故が発生するという結果となつてしまいました。今後も、各関係機関の協力を頂きながら、悲惨な交通事故を「起こさない・遭わない」を合い言葉に、啓発強化に努め安全対策を推進して参る所存であります。

また、凶悪犯罪の多発や不審者出没の増加など日常生活に不安が広がるなか、犯罪防止のため関係機関・団体との連携を図りながら、児童生徒

の安全はもとより町民の生活安全を確保するよう、地域と町民が一体的に展開できる運動を構築するとともに、犯罪被害者に対する支援が全国的に取り組まれている中、本町におきまして、犯罪被害者の保護や支援について規定する「生活安全推進条例」の一部改正を今定例会にお願いしているところでございます。

### 職員関係

職員の勤務時間につきましては、19年4月から1日の勤務時間を8時間に改め、国家公務員に準じた措置を講じて参りましたが、国においては民間企業の勤務時間と均衡を図るため、関係法令を改め今年4月1日から1日の勤務時間を7時間45分、1週間の勤務時間を38時間45分になりましたことから、本町におきましてその内容に準じた「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」の一部改正と関係条例の一部改正をお願いしているところであります。

## 総務関係の主な事業

- 一般管理費 29,375千円
- ★総合健診事業
- ★総合行政情報システム推進事業
  - 投票人名簿システム構築業務委託【新規】
  - 総合行政システム再構築業務委託【新規】
  - 総合行政情報システム備品購入事業【新規】
- ★現行法令インターネット接続
  - 財産管理費 7,753千円
  - 不用老朽建物除去事業【新規】
  - 町民センター4階屋上改修工事【新規】
  - 公共施設トイレ改修工事【新規】
  - 企画費 32,299千円
  - 新エネルギービジョン策定事業【新規】
- ★自治基本条例策定検討委員会
- ★ふるさと会報償
- ★交流施設管理業務
- ★空き住宅等調査委託
- ★わっさむふるさと交流委員会負担金
- ★移住体験事業負担金

- ★賃貸住宅建設補助
  - 交通対策事業費 28,139千円
- ★町営バス運行业務委託事業
  - 諸費 34,880千円
- ★自治会関係予算
  - わっさむ110年記念事業【新規】
- ★生活安全推進会議
- ★交通安全指導員報酬
- ★中和小学校跡地検討委員報償
  - 和寒高等学校跡地活用懇話会報償【新規】
- ★担い手結婚祝金
  - 防災資材の備蓄等【新規】
- ★防災無線関係
- ★交通安全啓発事業
  - 選挙費 8,169千円
  - 衆議院議員選挙【新規】
  - 町長選挙【新規】
  - その他 6,464千円
- ★にれっこ祝金
  - 住基ネットワークシステム再構築他業務委託【新規】

## 歳入

### 町税

町政の執行に貴重な財源であります町税につきましては、現在確定申告の期間中で所得の取りまとめを行っておりますが、景気の回復が見込めないことから、給与所得者の所得の減少や転出等もあり減収が見込まれ、また、昨年の税法改正により、寄附金税制の見直しや、税源移譲により、まず住宅ローン控除等がありますので、20年度と比較して1.7%の減収で見込んでおります。

法人町民税につきましては、均等割課税で法人に一部変更もあり、所得割と共に増収を見込み、固定資産税の償却資産については前年並み、土地、家屋については、評価替え等により減となり全体として2.5%の減、軽自動車税については微増、たばこ税につきましては、喫煙者の減少傾向により、減収を見込んでおります。

ところでありますが、住民の行政要望に添えていくうえで、貴重な自主財源でありますので、公平かつ適正に納税者のご理解をいただきながら、信頼される税務行政に努めて参ります。

### 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計は、一般被保険者に係る医療費の伸び及び共同事業拠出金の増により増額予算となりましたが、保健事業の特定健康診査に係る個人負担分につきましては、前年同様に無料とすることとしており、被保険者の健康増進と疾病の早期発見、早期治療、予防活動に努め将来的な医療費の抑制を図って参ります。

国保会計は、これまで蓄積してきた基金及び一般会計からの繰入れにより、国保の運営を行なっておりますが、基金残高の減少並びに町財政も厳しい状況にありますことから、今後の国保を維持していくためには、被保険者の方にも応分な税負担をしていただかなければならない状況と推測しており、保険税につきましては、平成20年分の所得が

確定した時点で、国保運営協議会等で十分ご協議を頂きながら税率等について決定させて頂き、安定的な国保事業の運営に努めて参ります。

### 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計につきましては、制度改正により急激な保険料の負担が生じないよう、激変緩和措置として保険料均等割の九割軽減の新設や軽減幅の拡大により、歳入歳出ともに減額予算となっており、今後、安心して医療を受けられるよう制度の周知等に万全を期して参ります。

### 老人保健特別会計

老人保健特別会計につきましては、制度移行となりますことから、医療費の精算に係る予算計上となり減額予算となつたところであります。

### 簡易水道事業特別会計

次に簡易水道事業特別会計につきましては、安全・安心な水を安定的に供給することが使命でありますことから、

引き続き水質の保全と水源の管理に十分配慮し供給いたしますが、特に東丘浄水場につきましては昭和38年度に建設しました緩速ろ過池を始め老朽化しており、将来の改修を見据え、「和寒町簡易水道事業基本計画」を策定すべく、所要予算を計上いたしました。

### 公共下水道事業特別会計

公共下水道事業特別会計につきましては、下水道の供用開始から20年が経過し、今後、終末処理場の機械設備等の更新が求められますことから、20年度に「下水道事業再評価」を実施し、更新が国庫補助事業として採択を受けられるよう対応方針(案)を作成しましたので、21年度におきましては、この方針(案)について関係機関等の審議を経て、道と協議のうえ国に提出して参ります。

### 介護保険特別会計

介護保険事業  
介護保険特別会計では、現在の被保険者は1千504名で、対前年比では25名の増加となっております。また、要

支援・要介護認定者は255名、居宅介護・支援サービス利用者は155名で、通所介護サービス等の利用者は増加傾向となっておりますのであります。

認知症高齢者のグループホームの入所者は、その実績を踏まえ、また、施設介護サービスでは72名が利用しておりますことから、これらサービス利用者の動向や推移なども勘案しつつ、3年ごとに、その内容を見直すこととなっております。第4期高齢者保健福祉計画並びに介護保険事業計画に反映して参ります。

また、21年度は、1号被保

険者の介護保険料の改定年となっており、国から示された制度の改正内容等を踏まえ、介護保険料の基準月額につきましては、準備基金や特例基金などを充当し、第4期の21年度から23年度の3年間は介護保険料の急激な上昇を抑制することとし、基準月額を第3期同様の4千円とする平準化の緩和策を講じることで、介護・保健・福祉対策検討委員会でご審議を頂きましたことから、今定例会に介護保険条例の一部改正を提案したところでございます。

### 芳生苑・健楽苑関係

次に、芳生苑・健楽苑の管理運営を20年4月より和寒町社会福祉協議会による指定管理者制度に移行したところであり、入所者並びにその家族の方々には、これまでと同様安心して療養して頂けるよう、管理者とともにサービスの充実と向上に努めて参ります。また、手狭となっております芳生苑の事務室や医務室などの増改築を行い、社会福祉協議会事務局と一体となつて事務の効率化を図るべく、その環境整備事業費などを21年度予算に計上したところでございます。

### 町立病院事業特別会計

総務省が全ての公立病院に求めている公立病院改革プランは、「経営にかかると目標を設定し、収益の改善を図りながら黒字化を目指す」と、いうものであり、不良債務を抱える自治体病院では「病院特別債」を受けられるため、昨秋プランの提出を行っているものですが、町立病院においては、すでに町民の皆さまのご理解ご協力をいただきながら療養病床の廃止、ベッド数の削減、

院外処方への移行、事務見直し効率化など重要な改革を実施し、これらを踏まえ21年度から3年間について、患者数や病床利用率、診療収入などの目標設定をおこない、同時に経費の節減を進めることを前提として収益的収支におけるバランスを講じるため、必要な収入に不足する額については、一般会計から繰入をおこない黒字化を図る方針でプランを作成しており、今後、病院運営協議会においても検討を頂き提出したいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

20年度の経営状況については、収入の増加と支出の抑制によりまして、大幅に予定損失額を圧縮できる見込みとなっており、ひきつづき、一層の経営改善と職員の資質向上に努め、患者の皆さまが利用しやすく安心して受診できる施設整備に向け、技術的な検討を含めた設計業務費を予算計上したところであります。

国民健康保険特別会計	698,500千円
簡易水道事業特別会計	63,248千円
公共下水道事業特別会計	133,974千円
後期高齢者医療特別会計	51,700千円
老人保健特別会計	7,310千円
介護保険特別会計	702,773千円

★介護保険事業

第1号被保険者保険料  
 介護サービス等諸費  
 介護予防事業費  
 包括的支援事業費

★サービス事業

一般管理費  
 (派遣職員給与手当等、芳生苑事務室増築工事及び  
 設計委託・施設備品購入【新規】)  
 サービス事業費

町立病院事業会計 501,669千円

★医業費用

★医業外費用

建設改良費【新規】

(医療機器購入、病院改修設計委託費)



教育関係につきましては、後ほど教育長が執行方針で述べますが、和寒高等学校が22年3月を持って閉校となることから、その跡地活用につきましては、道としても具体的な方策は無いようであり、本町として何らかの活用策の有無について検討するため、跡地活用懇話会を設置し町民の皆さまのご意見をお伺いしたく、関係予算を計上いたしました。

また、和寒高等学校閉校記念事業協賛会では閉校記念式典を計画しており、事業費の一部を補助することいたしました。

和寒小学校改築計画につきましては、和寒小学校改築調査特別委員会で多岐にわたる議論をいただき、事業を進めて参りましたが、去る2月15日に引越しを終え、児童の皆さまは17日から真新しい校舎で元気よく学校生活をおくっております。体育館につきましては、20年度国の補正事業の採択を受け、繰越明許費として補正予算の議決を頂いておりますので、早期着工をいたしたく、本定例会におきまして工事契約締結の議決を頂きたく、入札執行後提案を予定し

ておりますのでよろしくお願いたします。

三和小学校跡地利用では、本町が認可しました札幌自由が丘学園三和高等学校が、4月25日開校式を迎えることになりましたので、地域の皆さまとともに温かく見守り、支援して参りたいと考えております。

指定管理者制度へ移行しました体育施設の維持管理につきましては、1年を経過するわけでありませんが、今日まで大きな問題もなく、順調に管理運営されており、今後におきまして、利用者のサービスを低下させることのないよう、お互いに連携を密にしながら運営に意を注いで参りますので、御理解をお願いいたします。

以上、平成21年度の町政執行に臨む所信の一端を述べさせて頂きました。

私は、町長就任以来、これまでの千思万考のあり、議員各位をはじめ町民の皆さまのご支援・ご鞭撻を頂き、町政運営の確かな舵取りに努めてきたところであります。この間の温かい励ましとご協力に心から感謝申し上げます次第であります。

私の4年という限られた任期の中で、町民の皆さまの負託に応えるべく、農産物の付加価値向上や教育環境の整備、民間活力発揮の推進等、私の公約とするところの総合計画と行政改革大綱を尊重しつつ、町民の皆さまが元気に生き活きた暮らしが営まれるような必要な施策に配慮して参りました。

とりわけ仕上げの年となります本年は、20年度をもって時限を迎えた「榆の里人づくり基金事業」に代わる新たな人づくりや定住促進への取り組みを推進するとともに、地域が自らの創意に基づいた地域内発型の産業を興すことで、新たな雇用の確保を図り、経済の自立をめざす必要があると考えており、山積する課題に勇気を持って果敢に取り組んで参る所存であります。

今後、職員と一丸となつて、元気な「郷土和寒」の実現のため最大限の努力をして参りますので、町民の皆さまをはじめ、議会並びに行政執行機関の皆さまの一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

# 教育執行方針



教育長 田代 里志

平成21年第1回和寒町議会定例会の開催にあたり、和寒町教育委員会所管の教育行政執行方針について申し上げます。

今日、わが国は、国際化や高度情報化社会の進展に加え、技術革新は飛躍的に進化を遂げて参りましたが、一方で、教育は60年余り経て社会情勢が大きく変化したことにより、新たな時代の要請に応じて教育基本法をはじめ、関係法の改正や学習指導要領が改訂されました。教育の使命は時代が変わるうとも普遍的なものがありますが、これからの社会、激化が予想される国際社会にあつて「創造性豊

かに、未来を切り拓き、遅しなく、生きる力」を育み「知・徳・体」のバランスのとれた子どもたちの育成が求められております。

また、今日の社会は、環境問題や地域間の格差が顕著となるなか、更には少子高齢化社会や核家族化が進行するなど地方を取り巻く環境は厳しいものとなつておりますが、郷土和寒に暮らす住民一人ひとりが「健やかで生きがいをもつて人間性豊かな生活」を営み「心の充実」を実感できる、創造的で活力ある生涯学習社会を形成していくことが重要であります。

教育委員会といたしましては、活力ある地域づくりには、大きな役割を担っていることを認識し、「活力に満ちた、心の充実を実感し、健やかに生きる」ことを目標に、多様化する町民のニーズに応えるため、積極的に学校教育・社会教育・社会体育の振興を図り、多様な学習機会の形成に努めて参る所存であります。

## 学校教育

### 学校教育の推進

学校教育の推進につきましては、変化の激しい社会で自立的に生きていく力を育むことが大切であります。そのために一人ひとりが自ら考え、自ら学ぶ主体的態度や能力の育成を図るとともに生命の大切さ・思いやり・感謝の心など豊かさを培う教育が求められておりますので「確かな学力」や「豊かな心」「健やかでたくましい心身」の調和のとれた教育を推進して参ります。

### 教育課程編成と実施

最初に教育課程の編成では、確かな学力の育成でありますが、基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力・判断力・表現力を重視した学習を推進するなかで、学ぶことの楽しさを体験させ学習意欲の向上を図つて参ります。また、地域の自然や文化を生かした多様な体験的教育を取り入れた特色ある教育課程の編成に努めて参ります。

なかでも学力の向上には、全国学力状況調査の結果を踏まえ「学校改善支援プラン」の活用や読書活動の推進・家

庭学習の習慣化などを重点に推進して参ります。

豊かな心の育成では、豊かな情操や規範意識、公共の精神などを育む観点から、新学習指導要領では道徳教育の充実を重要視した改訂内容となつているのに加え、「こころのノート」の活用など、子どもの発達の視点を踏まえて家庭・学校・地域が連携して充実に努めて参ります。



健全な子ども育成では、体力の向上を図るため、生涯にわたつて積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育成することが重要でありますので、学校体育や運動部活動を通して充実に努めて参ります。

信頼される学校づくりでは、



いじめのない安心して学べる学習環境づくりに加え、学校は家庭や地域に対し学校評価の公開で適切に説明責任を果たし、信頼関係の構築に努め、学力を高めることに努めます。

学校力は、直接の担い手となる教職員各自の意識改革や資質能力の向上を図るとともに、教職員評価制度による取り組みや和寒町教育研究会・小中学校での公開研究会など充実に努め、支援と助言を行つて参ります。





### 和寒高等学校

次に、和寒高等学校につきましては、平成22年3月末を以って閉校となりますことから、その後の活用について道教育委員会から活用策が示されないで今日に至っております。このような状況から、閉校まで1年となりましたので和寒町としての活用方策について和寒高等学校跡地活用懇話会を設置し、意見を拝聴して、その方向性について検討して参ります。また、和寒高等学校閉校記念事業協賛会が閉校記念式典を計画しており、その経費の一部について支援要望がありましたので、計上いたしておりますのでご理解をお願いいたします。



## 社会教育

### 社会教育の推進

社会教育の推進につきましては、第6次和寒町社会教育中期振興計画に基づき、生涯学習の観点から、生きがいと豊かな心、学びあい、ふれあいのまちづくりのため、教育・文化・スポーツ活動を通して、町民が世代を問わず参加できる多様な学習活動の一層の推進に努めて参ります。

また、子どもの安全の確保につきまして、従来「こどもの安全見守り隊」として多くの町民、事業所の皆さまにご協力を頂いていたところでありますが、昨年、安全を脅かす不審者の情報や脅迫めいた電話事件が発生し、学校はじめPTA、警察、地域住民皆さまの協力により町内パトロール活動を実施し、未然に防止することができました。しかし、安全確保には日頃から継続した啓発活動など抑止力を高めるための活動が、より一層必要と考え、組織の強化や活動の充実を図り、子どもの安全・安心なまちづくりを目指し、子ども安全推進事業を展開して参ります。

### 公民館

公民館につきましては、生涯学習活動の拠点と人づくり・まちづくりの拠点としての機能も持っており、自治会や各種団体、家庭等あらゆる機関と連携しながら、町民のニーズに応えて各種講座や芸術文化の開催等学習環境の充実に意を用いて参ります。



### 図書館

図書館につきましては、生涯学習拠点施設としての役割は大きく、町民の皆さまの学習意欲を支援すべく、図書資料の計画的な整備に今年度も450万円を計上し、新しい情報の収集と提供に努めて参ります。併せて、町の広報誌を活用しながら新刊図書を紹介や自主企画事業の案内、学

習情報を積極的に提供し、町民の皆さまが「わっさむの図書館」と誇れる、そして一層親しみを持てる図書館づくりに努めて参ります。



### 芸術・文化活動

芸術・文化に親しむ機会を芸術文化公演実行委員会と連携しながら、恵みの野ホール自主企画事業として各種講演会を開催して参ります。また、児童生徒を対象にした北海道巡回小劇場の開催など芸術文化に触れる機会の拡充に努めるとともに、地域に根ざした文化・芸術活動を推進するため文化団体・各サークル活動に支援して参ります。

三笠山大学  
三笠山大学は、現在60歳以

上を対象に68名の方が、高齢者の生涯学習の場として意欲的に学習に取り組んでおります。本年度も学習課題をもち、健康で生きがいある社会参加の支援に努めて参ります。

### 北原交流展示館

北原交流展示館は、多くのボランティアの皆さまに支えられて運営しております。今後関係機関や各種団体等のご意見やご要望をお伺いしながらアイデアを凝らし、和寒町の芸術作品展示館として、町内外に発信し多くの方が来館していただける展示館づくりを目指して参ります。





## スポーツ振興

### スポーツの振興

スポーツは、心豊かに日常生活を営む中で、誰もが生涯にわたり、気軽に親しみ、明るく文化的な生活と体力の維持増進や人と人の交流を図ることが何よりも重要であります。そのために、短期・長期のスポーツ教室や地域体育館を活用したスポーツ教室の開催・スポーツ指導者の育成など積極的に振興を図って参ります。

また、今年、和寒町は110年を迎えますことから、町民大運動会に冠をつけまして、町民の皆さまとともに楽しい記念の大運動会になりますよう工夫して参ります。

### 各種体育施設

各種体育施設は、昨年4月から指定管理者制度へ移行し、1年が経過いたしました。大きな事故もなく利用者へのサービス向上に努力されておりました。指定管理者役職員の皆さまのご努力に対する感謝を申し上げます。引き続き各種施設の管理運営に留意し、利用者あつての施設であることを念頭に指定管理者とともに意を用いて参ります。尚、体育協会は4月1日付けで正式に財団法人となる手続きを進めていることを報告いたします。

以上で、平成21年度教育行政執行方針について申し上げますが、厳しい行財政状況を踏まえながら、本町の教育振興について町民の皆さまの期待に応えるため、関係機関や諸団体とも連携を保ちながら教育行政に最善の努力をいたしますので、町議会議員の皆さま並びに町民の皆さまには一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

## 教育関係の主な事業

### 教育総務費 7,759千円

- ★教育特区学校審議会委員報酬
- ★外国語指導助手招致事業
- ★和寒高等学校教育振興協議会補助  
(遠距離通学費助成、教育活動振興費助成)
- ★高校生徒通学費等補助  
教育課程編成手引き作成【新規】  
和寒高等学校閉校記念事業補助【新規】

### 小学校費・中学校費 22,772千円

- ★小学校1年生入学祝い品贈呈  
(新入学児童鍵盤ハーモニカ贈呈)
- ★和寒小学校特別支援員配置
- ★学校管理委託事業  
(清掃業務、電気保安業務、除雪業務他)
- ★教材備品整備(パソコン借上、教材備品)
- ★学校管理備品整備  
和寒小学校改築事業【新規】  
(屋内体育館用備品購入)
- ★教育研究関係補助  
(和寒町教育研究会補助、校内研究補助、総合的学習補助他)
- ★心の教室相談員配置事業
- ★中体連生徒派遣補助  
副読本発行事業【新規】

### 学校給食費 23,962千円

- ★給食センター運営他負担金

### 社会教育総務費・

### 公民館費・図書館費 17,014千円

- ★生涯学習推進事業  
(公民館講座、青少年育成、女性他研修、高齢者研修、その他学習支援)
- ★文化活動推進事業  
(恵み野ホール活用事業、片栗庵活用、文化活動等支援、北原交流展示館運営)
- ★図書館運営事業  
(図書・視聴覚資料整備、読書普及促進)
- 子ども安全推進事業【新規】

### 保健体育費 59,945千円

- ★スポーツ振興推進事業  
(体育指導委員活動費、スポーツ教室開催、指導者育成事業【新規】、各種社会体育事業負担金、各種競技出場補助、体育協会補助、スキー協会設立40周年記念事業記念誌発行補助【新規】)
- B & Gスポーツ大会北海道大会【新規】
- ★B & G少年の船派遣事業  
(海洋体験クルーズ、海洋体験セミナー)
- ★スポーツ指導者養成事業  
(指導員新規資格取得・継続等補助)
- ★スポーツ施設管理運営事業  
(体育施設等指定管理委託)